



H I D A M A R I



天までとどけ
いち!に~!さ~ん!
方南隣保館保育園

ひだまり

社会福祉法人 東京都福祉事業協会

目次 CONTENT

- 01 常務理事 挨拶
- 02 方南隣保館保育園
- 05 職員紹介
- 07 東日暮里サービスセンター
- 08 板橋区立母子生活支援施設

- 09 特別養護老人ホーム「赤羽北さくら荘」
- 11 保育士の大先輩 矢嶋圭子先生
- 12 HISTORY「東京都福祉事業協会75年史」から
- 13 協会からのお知らせ
- 14 地域包括支援センター・訃報

Vol
03



東日暮里サービスセンター

当たり前前のごことを、当たり前に行うことの大変さ。 支えているのは職員の大張りです。

コロナ禍で地域の福祉はどうなっているのだろうか。中でもご利用者、ご家族の日常を支えるデイサービスの果たす役割は大きいに違いありません。

通常どおりに事業継続することをいち早く宣言した「東日暮里サービスセンター」でコロナ対策のあり方を聞きました。

強い使命感が支える

ゆったりとした2階のフロアーから賑やかな声が聞こえてきました。丁度、午後のレクリエーションの時間のように。多くのご利用者が難しそうな漢字の読み方に挑戦しています。中には百歳を超える方も…。

ここは荒川区東日暮里にあるご高齢者のデイサービス施設「東日暮里サービスセンター」です。一般デイと認知症デイを合わせて89名のご高齢者が通う、いわば、地域福祉の拠点」と言われる存在となっています。



▲賑やかに楽しそうなデイサービス

協会が荒川区から委託を受けて今年で26年になり、ご利用者は近隣にお住いのご高齢者が中心ですが、大関英広施設長は少し遠くでも「要望があれば行くのがモットー」と話します。ご利用者から「来てよかった」「今日は楽しかった」と言っていた。けるサービスを目ざしたいとも…。お年寄りの「元氣」を支えるスタッフとワンチームで、強い使命感を持って地域の福祉を支えています。

地域とつながり理解を深める

ここ東日暮里サービスセンターは常磐線の三河島駅に近く、下町人情の厚い街にしっかりと根を下ろしています。大関施設長は町会長さんたちとは顔見知りの仲であり、お祭りの時にはお神輿も立ち寄って、揉んでくれる。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になったものの、毎年独自に「地域福祉まつり」を開催しています。施設見学を始めいつも提供し

求められる意識の高さ

協会が荒川区から委託を受けて今年で26年になり、ご利用者は近隣にお住いのご高齢者が中心ですが、大関英広施設長は少し遠くでも「要望があれば行くのがモットー」と話します。ご利用者から「来てよかった」「今日は楽しかった」と言っていた。けるサービスを目ざしたいとも…。お年寄りの「元氣」を支えるスタッフとワンチームで、強い使命感を持って地域の福祉を支えています。

新型コロナウイルスの感染拡大対策は素早く、確実に実施しました。緊急事態宣言が発せられたその日にアルコール消毒をそれまで以上に徹底。ご利用者、ご家族に向けても感染対策徹底の「お願い」を発送し、体調管理とご利用者へのマスク着用などをお願いしました。幸い、職員が使うマスクに事欠くこともなかったのは、日ごろからの備えが功を奏したのでしょうか。

緊急事態宣言が出る直前、荒川区からサービスセンターにこんな話がありました。「特別養護老人ホームのような施設の閉鎖は困るけれど、デイサービスのような通所施設は自由に休業しても構いません」と。しかし、デイサービスはご利用者にとってもご家族にとっても無くてはならない存在です。安易に休むことは



▲生活相談員 齊藤泉さん 大関施設長 大出さん

「コロナ禍の中で必要とされるのは職員の意識の高さです。職員の大出恭生副主任は「介護職員であれば自己管理をするのは当たり前」であり、「コロナ禍からではなく、日頃から環境衛生の大切さを意識しなければならぬ」と言います。最後に大関施設長のひと言が心に残りました。「いちばん頑張っているのは職員です」。

当たり前前のごことを、当たり前に行うことの大変さ、大変さを感じました。